

速報版

平成19年7月18日

平成19年

台風4号による那賀川の出水状況(国管理区間)

— 7月の台風としては観測史上最大 —



長安ロダムの放流状況



楠根下流地区の水防活動状況



楠根下流地区の水防活動状況



那賀川右岸 7/15 OK 那賀川橋

7月15日午前2時頃(ピーク時)の古庄地点

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

注) 本資料は那賀川本川の国管理区間についてとりまとめた資料です。また、資料における数値については、平成19年7月18日現在の速報値であり、今後修正される可能性があります。

気象の概要

平成19年7月9日午前3時にフィリピンの東海上カロリン諸島で発生した台風4号は、沖縄本島付近を北上し、14日午後2時に鹿児島県大隅半島に上陸しました。上陸時の中心気圧は945ヘクトパスカルと、7月に上陸した台風としては1951年に統計を取り始めて以来、最大の勢力を記録しました。上陸後も強い勢力（中心気圧960ヘクトパスカル、中心付近最大風速40m/s）を保ったまま毎時約35kmの速さで北東に進み、14日夜から15日の明け方にかけて四国地方の南の海上を通過しました。その後、本州への再上陸はないまま太平洋上を北東に進み、17日午前10時頃に温帯低気圧に変わりました。

那賀川流域においては、7月12日午後6時頃から雨が降り始め、台風の接近した14日には長時間に渡って雨が降り続き、上流域の日雨量は500mm程度に達しました。特に、木頭雨量観測所では観測史上最大の日雨量（531mm）を記録しました。なお、那賀川流域における主な観測所の総雨量（7月12～15日）は、以下のとおりです。

日 早	748mm(四国電力(株))
木 頭	627mm(気象庁)
桜 谷	614mm(国交省)
古 庄	259mm(国交省)

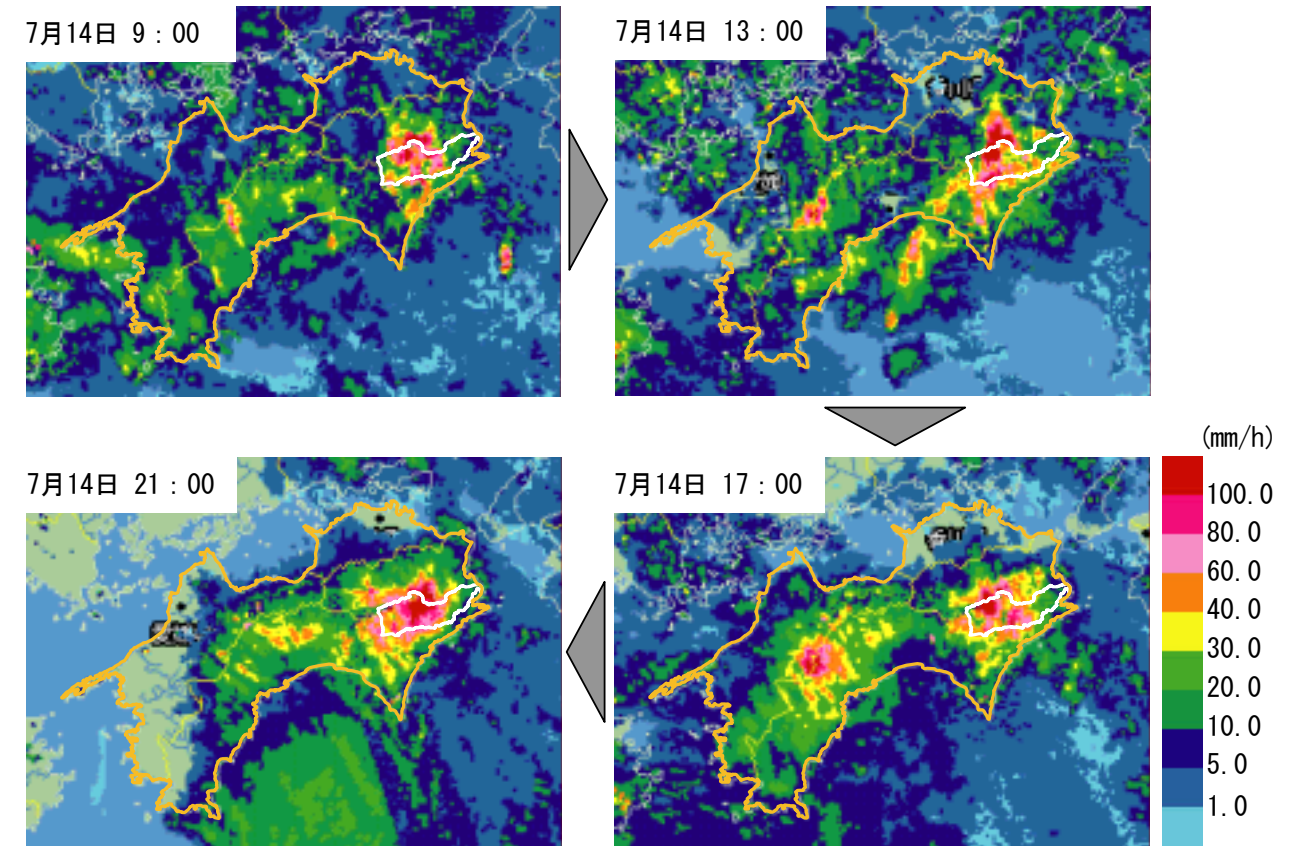
() : 観測所所管

※観測値は速報値

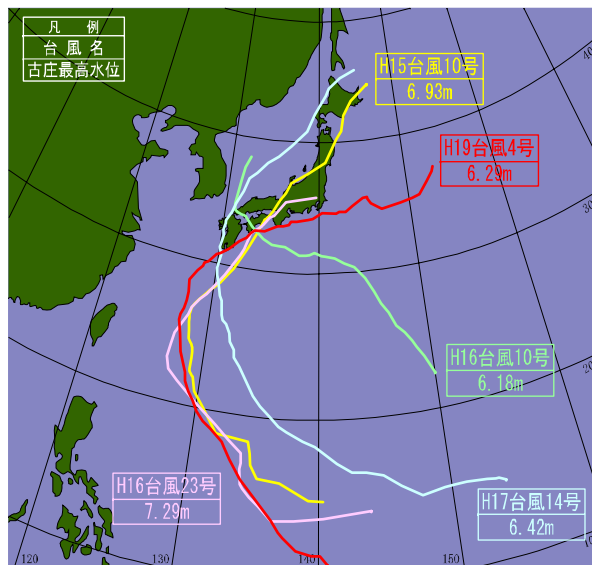


■降雨量実況図

—那賀川流域に雨域が長時間に渡って停滞—



■台風4号進路図



(気象庁発表)

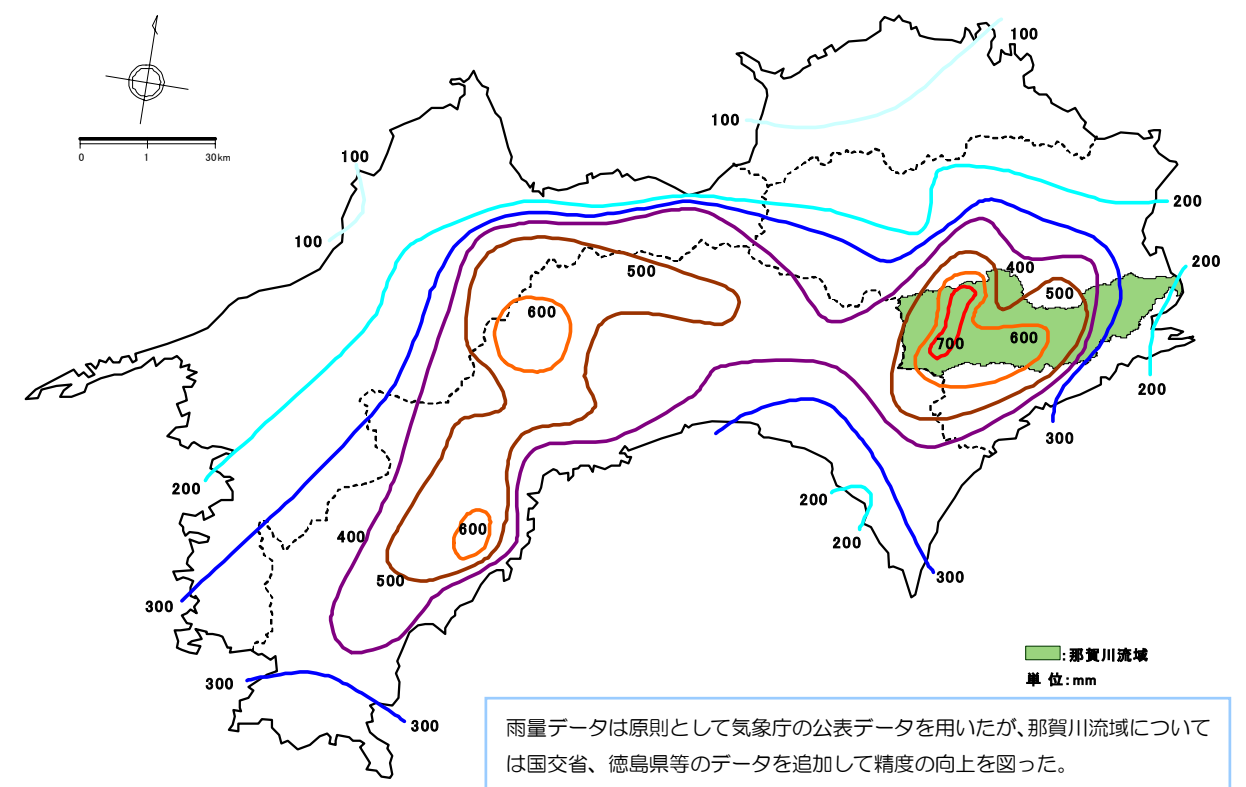
■台風4号経過一覧 (7月9日～7月15日)

7月 9日	3時00分	台風4号発生(カロリン諸島)
7月10日	18時20分	長安ロダム 洪水警戒体制
7月13日	12時00分	長安ロダム 予備放流開始
7月14日	8時05分	大雨洪水波浪警報(阿南)発表(気象庁)
	12時00分	那賀川事務所 注意体制
	12時15分	水防警報(待機)発令
	13時30分	水防団待機水位3.50m(指定水位)到達
	13時35分	水防警報(準備)発令
	14時00分	那賀川事務所 警戒体制
	15時20分	長安ロダム 洪水調節開始
	17時30分	はん濫注意水位5.00m(警戒水位)到達
	17時35分	水防警報(出動)発令
	21時00分	古庄上流域平均雨量 時間最大38mm
7月15日	1時00分頃	台風4号室戸岬の南南西約40km
	2時00分	最高水位(6.29m)記録〔古庄〕
	6時50分	那賀川事務所 注意体制へ変更
	6時55分	水防警報(解除)発令
	9時00分	那賀川事務所 注意体制解除

【台風4号の特徴】

- 7月の台風としては、統計開始（1951年）以来最大の勢力。
- 那賀川流域では、長時間に渡って雨が降り続いた。
- 木頭雨量観測所で、観測史上最大の日雨量531mm（7月14日）を記録。

■台風4号等雨量線図〔総雨量：平成19年7月12日～15日〕

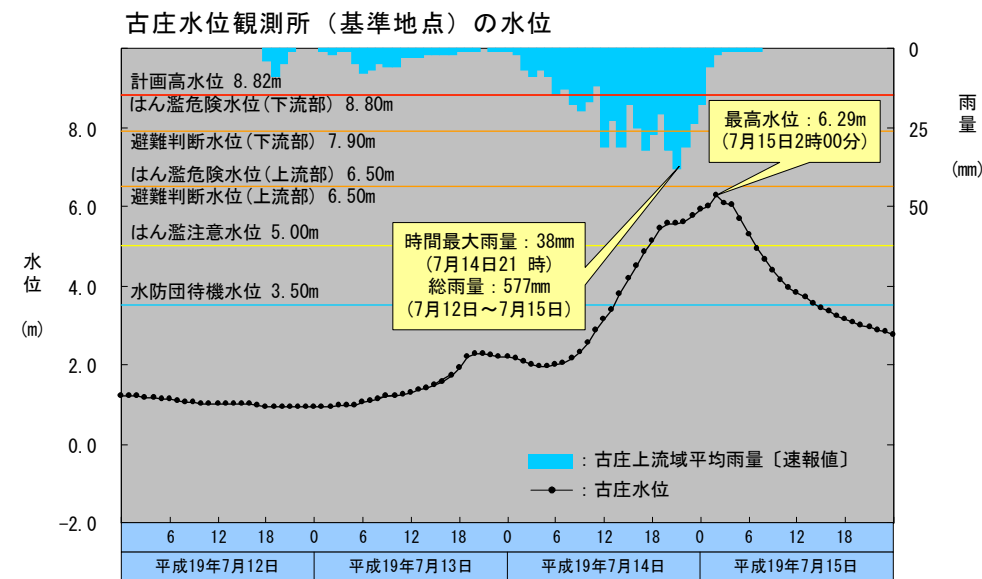
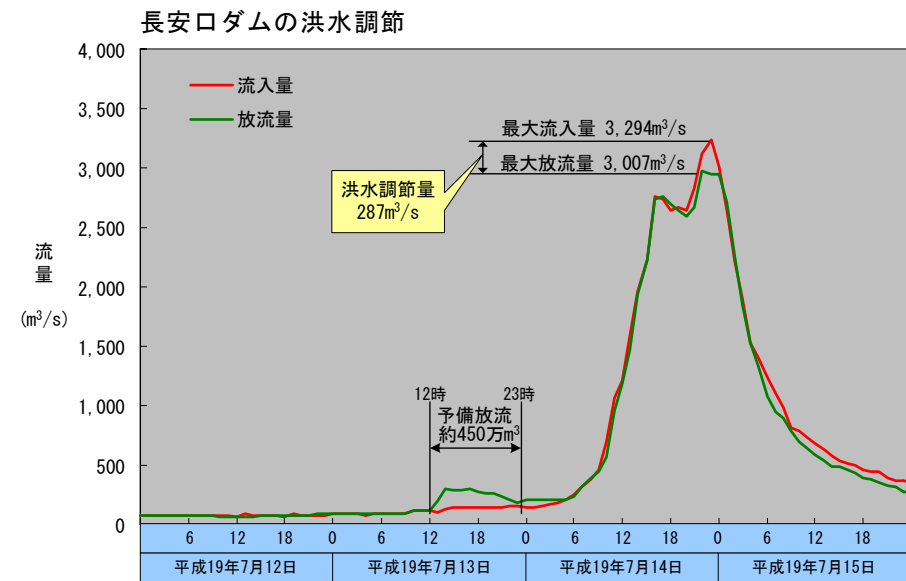


雨量データは原則として気象庁の公表データを用いたが、那賀川流域については国交省、徳島県等のデータを追加して精度の向上を図った。

那賀川の出水状況及び長安ロダムの洪水調節

■那賀川の出水状況

那賀川流域では、長時間の降雨により、阿南市羽ノ浦町の古庄水位観測所（基準地点）において、7月14日午後5時30分にはん濫注意水位（5.00m）を超え、15日午前2時に避難判断水位（上流部：6.50m）に迫る6.29mを記録しました。この水位は、7月の観測値としては、観測開始以来2番目に高い水位となりました。



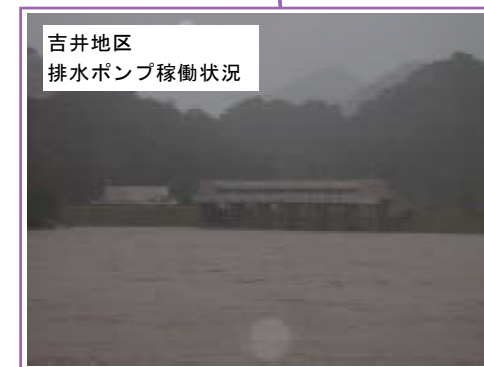
■長安ロダムの洪水調節

長安ロダムは、平成19年4月より徳島県から国交省に移管されました。移管後初めての洪水調節となった今回の洪水においても、これまでと同様に下流の洪水被害を軽減できるよう、約450万m³の予備放流により洪水調節容量を確保し、ダムへの最大流入量3,294m³/sに対して放流量を3,007m³/sとし（287m³/sの調節）、下流の流量を低減させました。

被災状況及び水防活動

那賀川の直轄管理区間では、阿南市5地区（加茂・深瀬・吉井・楠根・持井）において浸水被害が発生しました。また、阿南市楠根町奥山と阿南市那賀川町大京原において堤防漏水が発生しましたが、各地域の水防団によって「月の輪工」や「釜段工」等の水防活動が実施され、堤内側の安全を確保することができました。

■被災箇所位置図



那賀川の浸水被害の状況

那賀川では、阿南市内の5地区で浸水被害が発生しました。5地区における被害状況は下表のとおりです。浸水家屋は発生しなかったものの、浸水面積の合計は約145haに及びました。

地区名	河口からの距離(km)	被害状況		備考
		浸水面積(ha)	浸水家屋数(戸)	
① 加茂	17.0	約42	0戸	無堤地区
② 深瀬	16.4	約6		無堤地区
③ 吉井	14.0	約61		有堤地区
④ 楠根	13.0	約31		有堤地区
⑤ 持井	11.0	約5		無堤地区
合計		約145	0戸	

(注1) 上表の被害状況は速報値であり、今後修正する可能性があります。

(注2) 浸水面積、浸水家屋数は那賀川河川事務所調べ。



■平成19年台風4号の浸水被害状況



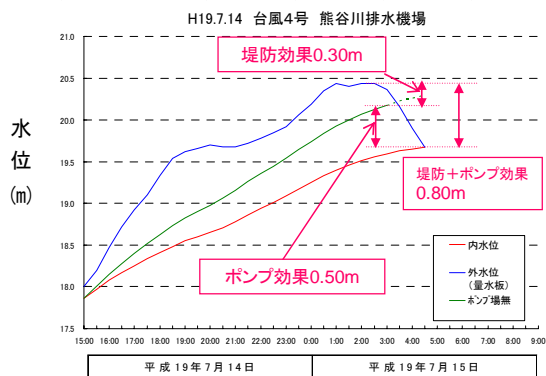
(注) 浸水範囲は推定であり、現在実施中の洪水痕跡調査結果により精度向上を図ります。

吉井箇所における事業効果



■吉井箇所における事業効果

	浸水面積 (ha)	浸水戸数		県道浸水
		床上(戸)	床下(戸)	
現状 (堤防+ポンプ)	61	0	0	なし
ポンプ設置前	70	7	6	あり
堤防締切り前	78	21	18	あり

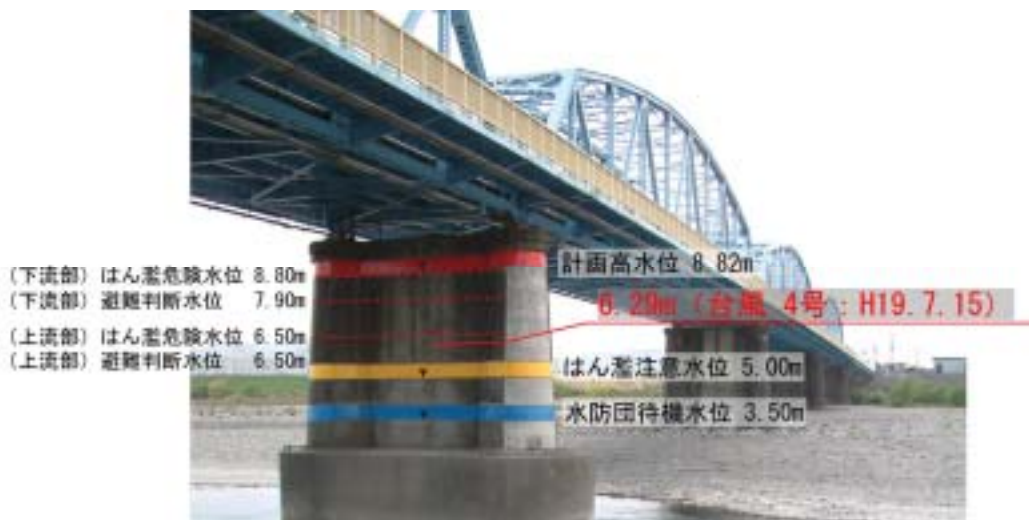


吉井箇所事業経緯

- ・平成17年3月熊谷川樋門が完成し堤防締切完了
- ・平成19年3月熊谷川排水機場を設置
- ・平成19年7月台風4号による出水により、吉井箇所竣工後、初めての出水



平成19年4月19日から水位情報の名称が変更となりました。



旧名称	新名称
危険水位	はん濫危険水位
警戒水位	はん濫注意水位
指定水位	水防団待機水位

はん濫注意水位

洪水に際し、水防団が出動して、水防活動を行う目安となる水位。はん濫注意水位に達し、なお上昇の恐れがある場合、水防団による堤防の巡視など、水防活動を行います。

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

TEL (0884) 22-6461 FAX (0884) 22-7062

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/>

平成19年7月18日作成